



# 善正寺だより

〒:512-0902  
 三重県四日市市  
 小杉町1014  
 浄土真宗  
 本願寺派  
 善正寺  
 ☎:059-331-1670  
 fax:059-332-0733

掲示板法話

## 唯念仏と育てられ 生かされる道



「佛慧」(信楽峻庵)

世界で、一年半の間に2億人以上の人が感染し、四百三十万人以上が亡くなった新型コロナウイルス・ウィルス(八月下旬現在)。真夏の東京オリンピックの最中、デルタ株の感染の猛威の前に、感染者の入院制限をしなければならぬという事態に、非常事態の緊迫感が伝わってきます。

長引くコロナ禍のため、外出自粛続きで、人と会話する機会が少なく、身も心も衰えていくような気がすると嘆きを耳にしました。

遠方から私どもの寺にもしばしばお参りいただいた老夫婦より、「孫も子もコロナ禍の中、会いに来ることもままならない。もう運転免許証も返上しましたので、毎日家に引きこもっています。心に染み入るような仏教讃歌のテープなど聞いてみたい、云々の電話を頂きました。そこで、早速何曲か収録されたCD二枚を楽譜や歌詞などと共にお送りし、「仏教讃歌の優しいメロディに心洗われます。み仏さまのお慈悲が心に染み入ります」と喜びの声を頂きました。

お送りした讃歌の一つは「わが生命」(信楽峻庵作詞、富田和代作曲)という歌で、歌いつつ、真実のお救いに導かれた生命観を聴聞させて頂くような調べです。

- 1 わが生命 はじめなきより この世まで 闇から闇へ さまよいて 今ここにあり 遥かに想う
  - 2 わが生命 仏の光明 聞きえてぞ ただ念仏と そだてられ
  - 3 まことの智慧に 生かされて生く わが生命 やがて終の日 迎うとも 法爾の流れに 身をゆだね 有無をはなれて ひとすじの道
- 1番は、我が生命はこの世に人生を頂くまで、永遠の昔より迷いの世界をさまよってきたけれど、今ようやく仏さまに遇うことができました、という感慨ですね。

### ☆行事ご案内☆

#### ◇門信徒会9月例会

#### 9月19日(第3・日)午前8時半

- ①コロナ禍の見通しと私の生きる道
- ②報恩講に向けて：疫病、飢饉の中で親鸞聖人はどう生きたのか？

#### 絵手紙教室：9月14日(第2火)前10時

62回目、10月百五門徒展に出品、初心者歓迎  
 小杉郵便局展示、「下手でいい、下手がいい」

#### 歌声広場：9月16日(第3木)後1時、22回目

大型画面を見て楽器伴奏に合わせて皆で歌う

#### 毎夕5時の鐘撞き、年中無休、誰でもOK

ご褒美のガム進呈、現代っ子に心の教育を！

#### 第11回百五銀行阿倉川支店「善正寺門徒作品展」

作品募集×切9月28日、10月1カ月開催、  
 11月2、3日の「報恩講」本堂に展示、ご応募下さい  
 善正寺HP「三重善正寺」で検索、1年分の寺報閲覧可  
 毎日更新ブログ「住職と坊守のつれづれ日記」大好評  
 開設13年1カ月で35万4千訪問、お悩み相談大歓迎

#### 一線会テレホン法話：TEL059-354-1454で3分法話

三重組5か寺が週替りで担当、18冊目の新刊本あり

新納骨堂後継者の無い方お墓でお困りの方ご相談を  
 法事場所でお困りの方：本堂使用可、寺にご相談を！



2番は、我々のこの生命は、仏さまの智慧の光に照らされ聞かされて、唯念仏のみぞ真実とお育てを受け、真実の智慧に生かされて生きるのです、と。  
 3番は、我が生命はいつかこの世の終わりの時を迎えるけれど、真実の法の働きにこの身を委ね、狭き執着を離れて(迷うことのなき)一筋の白道を歩ませて頂きます、とのお味わいです。  
 昔聞いた仏さまの歌が再び身も心も揺さぶり、今救いの中にあるわが身と聞き開いて下さったのでしよう。YouTubeでも法話や歌が聴けます。  
 唯念仏と育てられ生かされて、お浄土に至る道を共に声をかけ合い、歩んで参りましょう。

### ☆ 写真アラカルト ☆



# 坊守スケッチ 『心の鏡』を持つとう



松山鏡という落語をご存知ですか？その昔、越後の松山村には鏡が無かった。この村の正助という親孝行な正直者が、お上から褒美をもらうことになった。「両親の墓参りを毎日するのは当たり前で、褒美をもらうことも、カネも田畑の要らない」と村役人に断った。困った村役人が「無理難題でも申して見ろ。お上の威光で叶えてやる」と言う。「それなら18年前に死んだ父親に会わせてくれ」と言い出した。村役人も困ったが、正助が父親に瓜二つだと聞きだして、立派な箱の中に鏡を入れて与えた。箱の中を覗いた正助は驚いて喜んだ。そこには父の顔が！村役人は「子は親に似たるものをぞ亡き人の恋しき時は鏡をぞみよ」と歌を添えて、鏡の入った箱を正助に下げ渡した。正助は鏡を大事に持ち帰り、決して人には見せるなと言われたので、納屋の中の古いつづらに仕舞って、毎日そっと鏡を見て、父親に挨拶をしていた。(後略)

これは単なる笑い話ではありません。年齢を重ねると共に、容貌だけではなく所作が親に似てきたと言われることはありませんか？それは昔人間のいう事。現代は同じ屋根の下に居ても、ろくに会話もせずスマホを見てばかり。若い頃から家を出て一緒に過ごした年数も少なく、心通わすこともなかった。介護が必要になっても社会が何とかしてくれ、葬儀も業者任せ。親子の縁も希薄

なのが普通という現代人の何と多いことでしょうか？

ところで現在あなたは一日何回も鏡を見るでしょうか。朝起きたらすぐに鏡を見て健康状態を確認、お化粧や髪の手入れや似合う洋服選びをします。

しかし外面を映す鏡は有っても、心を映し出す鏡をお持ちですか？毎日「仏前にお参りする」のは、自分の心を映す鏡の前に立つことです。心の鏡は「こんな事したら世間に恥ずかしい」、「目先の損得ではなく、苦しくても親が一番喜ぶ道を選ぶほう」等、あなたの心にブレーキとエンジンを掛けます。仏法を聞くのは、『心の鏡』が用意されて、あなたの進むべき道を教えてくれます。あなたも『心の鏡』を持ちましょう。

## 俳壇

手を繋ぐ親子の姿日傘影 釋妙水  
走馬灯父にぶたれたあの日かな  
地球割る八日間の蟬いのち

大ぶりの日傘の男性や遠会釈 釋榮邦

絵日傘を見せ合う路地や幼き日 鳴き声のシャワーを浴びて蟬の森 庭眺め読書三味夏座敷 釋清風

二階より一階がよき夏日かな 恐々の花火持つ手に救いの手 ひぐらしの声や一人の帰り道 釋秀龍  
ランドセル写生し終えて日の盛り 吾がケガをなでる妹秋来たる

## 若院夫婦の子育て日記81

7月末から妻が十一日間京都で得度習礼を受けますので、今回は私が代わりに書きます。ところが実施二日前になって、コロナ感染急拡大で、急遽オンライン研修に変更になりました。妻は一日中僧衣姿で部屋に籠って、パソコンの前に正座。朝から晩までつしり時間割通りに受講しました。

子供達は大喜びでしたが、母親に甘えたくてもじっと我慢して、夫々の「おうち時間」を楽しみました。

小四の息子は毎週TV『プレバト』を見て梅沢富美男氏や夏井いつき先生の大ファン。自ら釈秀龍と名乗り、本堂に俳句ポストを設置して、皆さんから俳句募集の熱の入れようです。NHK俳句雑誌に投稿し掲載されました。「吾のケガをなでる妹秋来る」は、微笑ましい兄妹愛が感じられました。最近では藤井聡太君に触発されて、将棋の楽しみにも目覚めました。

小一の娘も、兄に倣って勉強に励み、得度で母親が不在の分、電話の応対や家事のお手伝いをよくしてくれます。これからも兄妹仲良く協力して、目標に向かって挑戦して欲しいと思います。今後とも皆様からお育て頂きますようにお願い申し上げます。(若院)



## カンパありがとう

富田和代様、海野公子様、山中ツヤ子様、豊住久美夫様、鈴木登代子様、赤井淑子様、匿名様有難うございました。謹んでお悔み申し上げます

★服部隆棟(78歳、8月8日往生、四日市市西松本) 合掌

## お礼&お知らせ

※7月下旬から8月初め、在所は行事さん、近隣は総代さん、遠方は住職と行事長さんが夫々巡回した本年度門信徒会費に、皆様からご協力を賜り厚くお礼申し上げます。尊い浄財を今後の活動に大切に使用させていただきます。

※9月号寺報は8月上旬に作成します。14日の孟蘭盆会と21・22日の永代経で配布予定です。万一コロナで変更の場合は、悪しからずご了承下さいませ。

※本堂に俳句ポスト設置。お参りの時一句投句お願いします。無季の句、十七文字の法句も可。善正寺俳句大会(秋の錦秋戦)締切りは十月二十日。

## ☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」333号をお届けします。◇若坊守の得度習礼はオンラインの十日間に様変わり。丁度六十年前の我が得度習礼とは大違いの厳しい日程。コロナ禍のために多くの会議、研修もオンライン化。企業でも在宅勤務がどんどん増えるとか！◇人間同士の交流、ふれ合いが減り、人間沙漠のような殺伐たる世相を嘆く。◇だが、朝夕の礼拝、仏縁こそ我が居場所発見の法縁。心のワクチンを打ってこそ！

日本国民の大半が反対していた東京五輪がついに終了。  
予想通り過去最多の爆発的な感染者数を記録  
して医療崩壊の状態です。オリンピック後もコロナは更  
なる変異を遂げて今後も感染拡大が続くでしょう。  
本来の姿に戻るのはずと先、いやもう元には戻れないと  
覚悟した方がいかむしません。ところで7月末から  
8月10日まで若坊守の京都での得度習礼も前々  
日に急遽オンライン研修に変更になりました。喜ん  
たのは二人の孫達。母親がいる安心感と研修の邪魔をし  
ないように自分達も頑張ろうという気持ちになりました。オン  
ラインならば少しは楽できると思うのは間違いで従来  
通り予定満載で朝から晩まで僧衣姿でパソコンの前  
に正座しなればなりません。少しくらい足を崩しても  
いいのでは？と言うと「画面の向こうで分かるから絶対ダメ」  
とのこと。今まで通りの厳しい実演テストや講義があり、  
毎日レポート提出もあるそうです。10日間パソコン画面を見つめ  
て部屋に籠りきりで運動不足から体に変調をきたす  
そうです。が何事も修行です。対面とは違い得度仲間  
との交流がないことが残念です。得度式だけは後日こ  
本山で受けます。オンライン得度は、コロナ時代の苦肉の  
策と受け止めなければなりません。私達はそういつ時  
代の巡り合わせに柔軟に対応していかざるを得ません。  
若坊守が得度研修を終えて一回り成長した姿を皆  
様にお見せする日を楽しみにしています。  
合掌

令和三年九月

善正寺坊守拜